

近藤通信

平成28年第3回定例会報告



公明党千葉市議会
議員団 議会報告
No.64
2016年 秋号

近藤ちず子議員が会派を代表して代表質疑を行いました！
以下、質疑の一部と市長の答弁を報告します。



* 質疑・要望項目 *

* 市長答弁 *

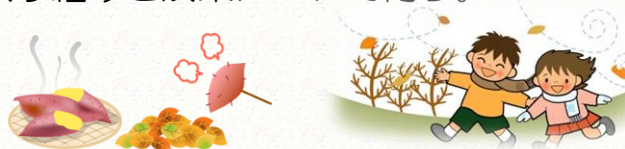
市政運営の基本姿勢について

1.平成27年度決算について

◆予算配分を重点化した分野の決算における成果と評価について問う。



◆主要債務総額の削減についての取り組みと成果について問う。



◆予算を重点的に配分した医療・介護・子育て支援・特性を活かすまちづくりの分野について見込んでいた成果を概ねあげることができました。今後も事業の成果を検証し効果的に事業を推進してまいります。

◆平成27年度末の主要債務総額は24年度と比較して757億円減の5,505億円となり、目標達成に向け着実に進んでいると考えています。引き続き債務の削減に努めて参ります。

2.新年度予算編成の基本的な考え方と「脱・財政危機宣言」の解除の条件についての考えを問う。



◆歳入・歳出とも厳しい状況下ではありますが「地域包括ケアシステムの構築」・「保育所・子どもルームの待機児童対策」等、本市の課題に対応するとともに「地方創生」や「国家戦略特区」など更なる発展に向けた取り組みを進め予算編成に臨みます。

◆「脱・財政危機宣言」の解除については実質公債費比率18%を下回り、許可団体を脱却することが宣言解除の重要な目安と考えています。

3.国土強靱化地域計画について

◆平成25年12月に「国土強靱化基本法」が施行され、法に基づき既に多くの県・市で「国土強靱化地域計画」が策定されている。「全国地震動予測地図」2016年版で全国で一番高い地震発生確率が示された千葉市の状況をふまえ、早急に「千葉市国土強靱化計画」を策定すべきと強く要望する

◆計画策定の際、熊本地震へ派遣された多くの千葉市職員の体験を計画に反映させるべきと要望する。



◆国の国土強靱化基本計画及び千葉県国土強靱化地域計画との整合を図り、**本市の特性を考慮し、できるだけ速やかに検討体制を構築し「千葉市国土強靱化地域計画」を策定**して参ります。



◆熊本地震では本市から延べ171人の職員を派遣しました。今後は派遣職員の体験をふまえ、国土強靱化地域計画についても対策に反映させていくことを検討します。

4.救急救命体制について

◆「救命バイスタンダー日本一の政令市」に向けた取り組みは、救命講習会の受講者増だけでなく、その後の継続した育成が必要であると考えているが、本市の課題と取り組みについて問う。

◆どの自治体でも問題となっている救急車の適正利用については、千葉市においても救急搬送される約6割が軽症者である状況が続いている。

その軽減の1つの方法として「かかりつけ医」の先生方に協力頂いて救急車の利用判断を相談できる体制を検討してはどうかと要望する。

◆青葉病院救急棟が完成し1年が経つ。救急に当たる医師は常勤3名で24時間365日救急業務に就かれている。青葉病院救急棟の役割と職員の労働環境の整備を含め、今後の取り組みを問う。

5.両市立病院のあり方について

◆公明党の提案で両市立病院の経営形態が地方公営企業法の全部適用されて5年。現時点の市長の評価とこれからの病院運営のあり方を問う。

◆千葉市の自治体病院としての役割とこれからの病院改革の取り組みについて問う。

◆昭和59年に設置された海浜病院については院内の配管等に多くの課題がある現状をふまえ、将来を見据えた早急な取り組みが必要と要望する。

◆これからの千葉市全体の医療需要を勘案し、様々な角度から検討し、熟慮頂いて、両市立病院の統合を含めたあり方の議論を進めて頂くべきと要望する。

◆平成29年度を目途に救命講習受講者3万人を目標に、計画的に応急手当の普及啓発を推進するとともに、講習修了者が救急現場で、安心して応急手当できる環境づくりが必要と考えています。

◆平成27年度新規事業により、軽症者搬送割合は56%と減少し効果は表れています。**かかりつけ医が急病時に相談を受ける仕組みは救急車の適正利用に効果が見込まれますが、**限られた医療資源の中で十分な検討が必要と考えられます。医師会等と協議を行いながら医療体制の整備に努めます。

◆救急医療は不採算・特殊部門であり、公立病院の果たすべき役割として本市の医療を支えて参りたい。**救急医は全国的に不足しており、院内のバックアップ体制を含め、常勤医確保に努めて参ります。**

◆人事に係る権限を付与したことにより、**院長人事に主体性を発揮し診療体制や診療機能が充実しました。**これからも可能な改革を実行し、持続可能な経営体質の獲得を目指したいと考えています。

◆これまでの「病院完結型医療」から「地域完結型医療」への転換を目指し、公立病院として果たすべき役割を明らかにし地域医療に貢献して参ります。

◆海浜病院については中長期保全計画に基づき計画的に修繕を行い、地域医療構想と整合を図りながら改修を進めます。

◆現行の両市立病院の現況をふまえ、質の高い医療サービスの提供を維持するとともに健全な病院経営の基盤確立に向け**将来的には両市立病院の統合も含めた議論も必要と考えています。**

その他の質問項目として・・・

- ★骨髄ドナー支援事業について
- ★B型肝炎予防接種について
- ★健康づくり施策の指針策定について
- ★里親について
- ★食品ロス削減の取り組みについて
- ★教員の勤務負担軽減について
- ★特別支援教育の充実について
- ★技術職・専門職の確保・育成について

- ★区役所窓口改革の推進について
- ★集客プロモーションについて
- ★農業対策について
- ★市営住宅の共益費不払いについて
- ★生活道路の安全対策について
- ★通学路における路肩のカラー化について

代表質問は、
通告時間60分！
限られた紙面で
全てをご報告するのは
難しい状況です。
疑問な点は遠慮なく
申し付けて下さい。